

	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日		△の数	訂正記事	設計	検図	年月日	
△						△						
△						△						
適用規格												
定 格	使用温度範囲		-25℃ ～ +85℃			保存温度範囲		-25℃ ～ +85℃				
	電 圧		AC 30 V , DC 42 V			電線サイズ		MAX AWG#26				
	電 流		2 A			適合ケーブル		φ8.7±0.2				
性 能												
	項 目	試 験 方 法				規 格				QT	AT	
構 造	外観、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。				図面と合致していること。				○	○	
	表示	目視にて確認する。								○	○	
電 氣 的 性 能	接触抵抗	単位コネクタをDC 1 A で測定する。				15 mΩ以下				○	○	
		をDC - A で測定する。				- mΩ以下				-	-	
	絶縁抵抗	DC 100 Vで測定する。				1000MΩ以上				○	○	
	耐電圧	端子間、端子-シールド間にAC 300 Vの電圧を1分間印加する。				せん絡・絶縁破壊がないこと。				○	○	
機 械 的 性 能	コネクタの挿抜力	φ0.53±0.003の鋼製ピンで測定する。				挿抜力 0.15 N 以上				○	-	
	コネクタの挿抜力	適合コネクタで測定する。				挿抜力 50 N以下(ロック機構を除く)				○	-	
	繰返し動作	1000 回の抜き差しを行う。				単位コネクタの接触抵抗: 30 mΩ以下 - の接触抵抗: - mΩ以下				○	-	
	耐振性	周波数 10~55~10Hz/サイクル, 振幅0.75mm, 5分/サイクルで3軸方向各10サイクル試験する。				①10 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと				○	-	
	衝撃	加速度 490 m/s ² , 持続時間 11 ms, 正弦半波 3軸両方向各3 回試験する。				①10 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと				○	-	
	コネクタ破壊強度	適合コネクタをカン合した状態で、ケーブルを上下左右方向に力を加える。				100N以下でコネクタの破損が無いこと。				○	-	
	環境的性	定常状態の耐湿性	温度 40 °C, 湿度90~95 %中に96時間放置する。				①絶縁抵抗: 10 MΩ以上(高温時) ②絶縁抵抗: 100 MΩ以上(乾燥時) ③破損, ひび, 部品のゆるみがないこと				○	-
	能	温度サイクル	温度 -55℃ →常温 → +85℃ →常温 時間 30 →2~3 → 30 → 2~3 分 を5 サイクル試験する。				①絶縁抵抗:100MΩ以上 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと				○	-
	塩水噴霧	濃度5%の塩水、48時間放置する。				はなはだしい腐食がないこと。				○	-	
	耐熱性	温度 +85 °C中に96時間放置する。				破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。				○	-	
	耐寒性	温度 -55 °C中に96時間放置する。				破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。				○	-	
	はんだ耐熱性	はんだこてをこて先温度+350±10℃で5±1秒間ソルダーポット部へ当てる。				外観の変形及びコネクタなどに著しいガタがないこと。				○	-	
	はんだ付け性	はんだこてをこて先温度+350±10℃で2~3秒間のはんだ付けを行う。				はんだ付け表面は、ピンホール、ぬれなし はんだはじき部分などの欠点のないこと。				○	-	
	耐水圧性	適合コネクタをかん合した状態で水深 1.8mに 48時間放置する。				コネクタ内部への浸水がないこと。				○	-	
	耐気圧性	適合コネクタをかん合した状態で、コネクタ内部に17-圧17.6kPaを30秒間加える。				コネクタ内部より気泡の発生がないこと。				○	○	
備考						製 図	設 計	検 図	承 認	出 図		
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。												
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目												
HRS ヒロセ電機株式会社 HIROSE ELECTRIC CO., LTD.			製品規格表			製品名 LF13WBJ-20S						
旧CL CL		図番 SLC4-114403		製品コード CL136-2010-3		1/1						

